マルチドロップボックス

BB9-232 ／ BB3-232

取扱説明書

Rev.1.3a 2025.7.31

目次

1. はじめに 2
2. 取り付け 2
3. 仕様 3
4. ドライバのインストール（パソコンとの接続） 3
5. 電源供給 5
6. 機器の接続（ID の設定） 6
7. デイジーチェイン接続 7

日本スターテクノ株式会社
Japan Star Techno Co.,Ltd.

https://www.j-startechno.com
E-mail: support-flow@j-startechno.com

本社
〒302-0004 茨城県取手市取手 3-4-20 中山ビル 202
TEL.0297-86-6688 / FAX.0297-86-6684

大阪営業所
〒547-0027 大阪府大阪市平野区喜連 1-5-34-F
TEL.06-4397-4571 / FAX.06-4397-4612

※製品についてお困りのことがありましたら弊社までご連絡ください。
※本書の内容は改良のため、予告なしに仕様などを変更することがあります。予めご了承のほどお願いいたします。

1. はじめに

マルチドロップボックス BB9-232 および BB3-232 は複数のメーターやコントローラーを USB ケーブル 1 本でパソコンとの接続を可能にする中継器です。ミニ DIN コネクタまたはロック式コネクタを備え、専用のケーブルを使用することで簡単に接続ができます。BB3-232 は 3 台、BB9-232 は 9 台の接続が可能です。また BB9-232 はもう 1 台接続することにより最大で 16 台まで接続することができます。

ミニ DIN コネクタケーブル

DC-62 (約 1.8m)
DC-252 (約 7.6m)
DC-502 (約 15.2m)

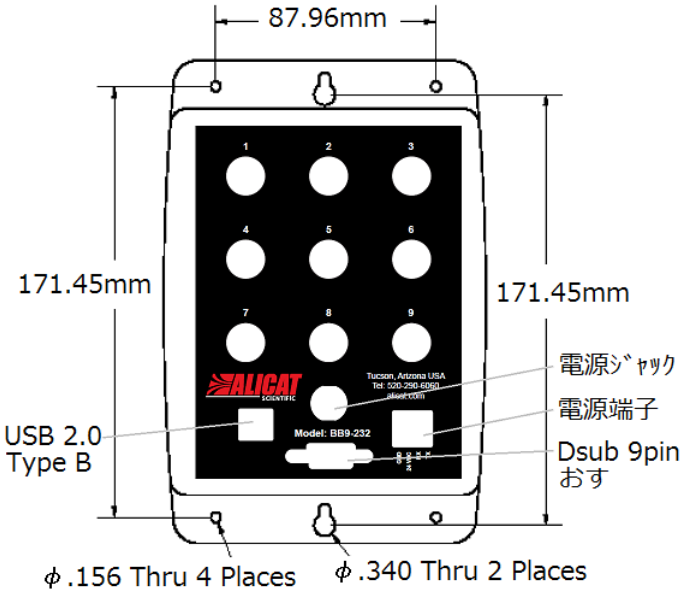
ロック式コネクタケーブル

IC102 (約 3.0m)
IC202 (約 6.0m)
IC502 (約 15.2m)

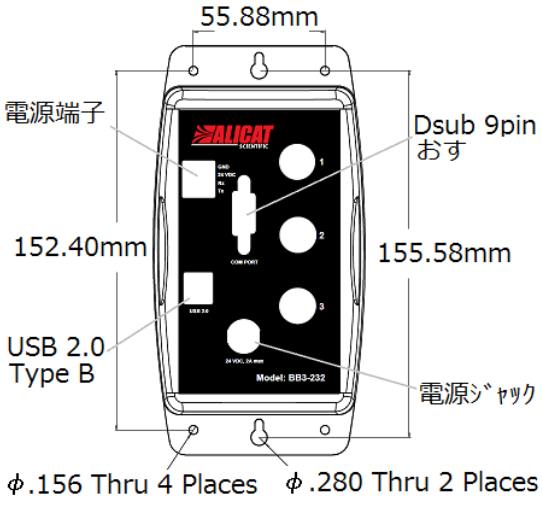
フロントの電源端子から電源 DC24V を供給することで、マルチドロップボックスに接続しているすべての機器に電源を供給することができます。

2. 取り付け

マルチドロップボックスは垂直面、または水平面に取り付けることができます。



BB9



BB3

3. 仕様

インターフェース	USB2.0 Type B / シリアル D-sub 9 ピン おす
対応 OS	Windows XP / Windows Vista / Windows 7 / Windows 8, 8.1 / Windows 10

※USB ケーブル(USB A-B) 1.8m、およびシリアルケーブル 3m が付属します。

4. ドライバのインストール（パソコンとの接続）

初めてマルチドロップボックスを接続する場合は、ドライバのインストールが必要となります。

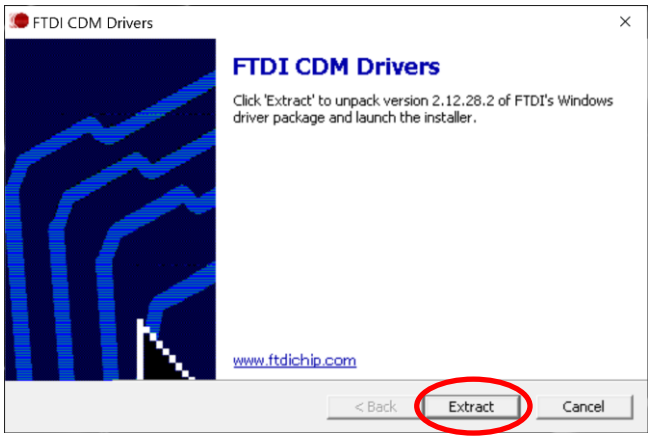
【ドライバのインストール】

①以下メーカーサイトよりドライバをダウンロードしてください。

https://www.alicat.com/support/software-drivers/

②ダウンロードした zip ファイルを解凍し、フォルダ内の setup.exe を実行します。ドライバのインストーラーが起動します。
※ユーザーアカウント制御のダイアログが表示された場合は[はい]をクリックしてください。

③ダイアログの指示に従ってインストールを進めてください。



[Extract] を押します。

[次へ] を押します。

[同意します] にチェックし、[次へ] を押します。

ドライバのインストールが実行されます。

[完了] を押します。

これでドライバのインストールは完了です。

【パソコンとの接続】

④マルチドロップボックスに電源を供給します。
⑤マルチドロップボックスとパソコンとを付属のケーブルで接続します。

5. 電源供給

マルチドロップボックスのフロントの電源端子、またはマルチドロップボックスに接続されている 1 台の機器に電源 DC24V を供給することで、マルチドロップボックスに接続されているすべての機器へ電源が供給されます。

マスフローメーター／コントローラー	電圧	電流
M / MS / MW シリーズ	7～30V	各 60mA
MC / MCS / MCW シリーズ	12～30V	各 250mA
MCR / MCRS / MCRW シリーズ	24～30V	各 750mA
- PAR コントローラー（2000SLPM 以上）	24～30V	各 1A
MCRH シリーズ	24～30V	各 2A

純水用フローメーター／コントローラー	電圧	電流
L シリーズ	7～30V	各 60mA
LC シリーズ	12～30V	各 250mA
LCR シリーズ	24～30V	各 750mA

圧力ゲージ／コントローラー	電圧	電流
P シリーズ	7～30V	各 60mA
PC / PC3 / PCD シリーズ	12～30V	各 250mA
PCR / PCR3 / PCDR シリーズ	24～30V	各 750mA

！注意 1

電源を供給する際は、供給方法により下表の電流以下としてください。

電源端子より供給	電源ジャックより供給	接続機器より供給
10A max	2A max	2A max

！注意2

AC電源を投入しないでください。誤ってAC電源が投入されると接続機器を含め損傷し故障の原因となります。

！注意3

電源供給元は1箇所とし、マルチドロップボックスや接続機器複数から電源を供給しないでください。電源を複数から供給した場合、電位差でマルチドロップボックスの電源ラインが損傷する恐れがあります。また過電圧となり、接続機器が損傷し故障の原因となります。

6. 機器の接続（ID の設定）

マルチドロップボックスに複数の機器を接続して通信する場合、各機器に固有の ID をつける必要があります。初期 ID は"A"となっています。ID の設定は機器のスイッチ操作で行えます。

ボタン操作による設定

①MENU ボタンを押します。
②RS232C COMM ボタンを押します。
③UNIT ID ボタンを押します。
④UP/DN ボタンを押して ID を設定します。初期 ID は"A"となっています。設定範囲は"A"～"Z"です。他の機器と同じにならない ID 設定してください。
⑤設定後、SET ボタンを押します。表示は計測表示に戻ります。

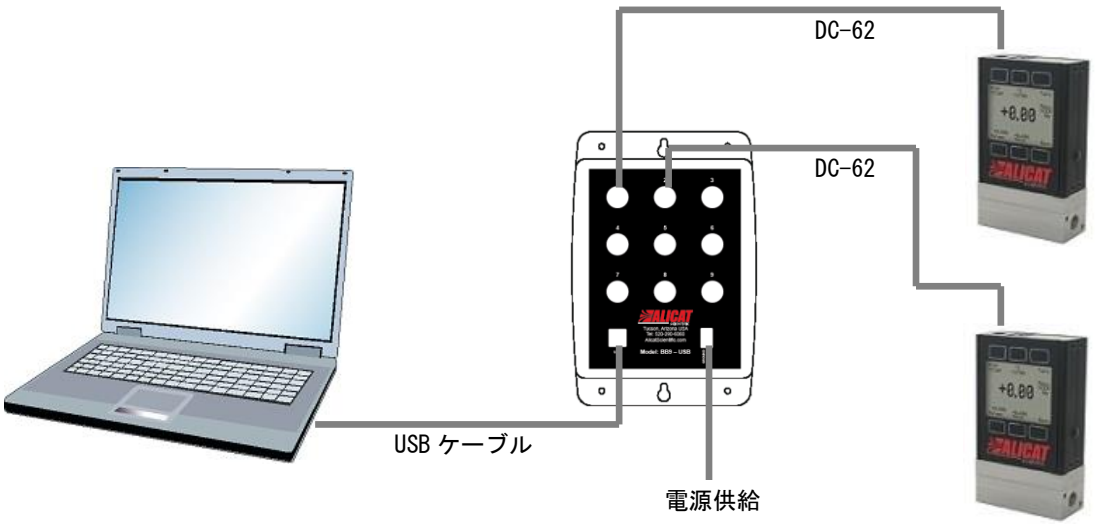
通信による設定

通信コマンド「 *@=ユニット ID<CR> 」を送ることで ID の設定が行えます。
（<CR>は ASCII コードの 0Dh です。）

例．機器の ID を "B" と設定したい場合　→　*@=B<CR>

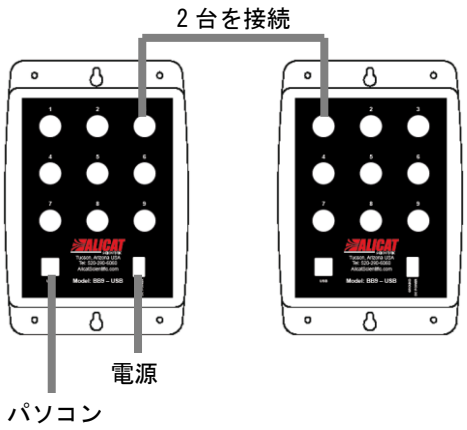
！注意4
製品の改良等により設定方法が相違する場合がありますので詳細は各機器付属の取扱説明書をご参照ください。

接続例



7. デイジーチェイン接続

1 台の BB9-232 では最大 9 台までの機器が接続可能ですが、それ以上を接続する場合はもう 1 台 BB9-232 を接続し、最大で 16 台の機器の接続が可能となります。



2 台を接続するコネクタはどこでも可能です。
これにより 16 台まで接続可能となります。